

岐阜大会

2012年(平成24年)7月15日 日曜日

大垣日大、四回に8点

岐阜高専は打線が沈黙

大垣日大10-0岐阜高専

大垣日大が六回コールド勝ちした。四回、連続四死球から好機をつくり、3番安藤の適時打など打者12人の猛攻で一挙に8得点、試合を決めた。岐阜高専打線は、大垣日大の継投に2安打に抑え込まれた。

○大垣日大・柳川優太投手(5回を被安打1、毎

回の6奪三振) 初回は緊張はしたが、二回以降は本来の投球ができた。6月中旬ごろに変えたフォームがしっくりきている。

【大垣日大】	打	安	点	振	球
中(本)	4	0	0	0	0
田(明)	3	1	1	1	1
藤(長)	4	4	3	0	0
藤(新)	4	1	2	0	0
木(旭)	4	0	0	1	1
上(福)	3	1	0	0	0
和(香)	2	0	0	1	1
中(甲)	1	1	1	0	0
古(坂)	1	1	1	0	0
中(片)	0	0	0	0	0
古(山)	0	0	0	0	0
種(興)	0	0	0	1	0
和(文)	1	0	0	0	0
三(玉)	1	0	0	0	0
右(南)	2	1	1	0	0
柳(越)	2	1	1	0	0
柳(併)	1	0	0	7	25
柳(盗)	0	0	0	10	10
柳(残)	3	9			

投手	回	打	安	点	振	球
柳川	5	16	1	6	0	0
中村	1	4	1	1	0	0

▷二塁打 田中健、安藤(大)▷  
暴投 中村(大)  
試合時間 1時間36分

2012年(平成24年)7月17日 火曜日

大垣日大、小刻み加点

中津商に快勝



大垣日大×中津商 4回裏大垣日大2死一塁、立野力也の左翼線二塁打でホムへ疾走する一走上木健晴 大垣北公園

大垣日大は小刻みに得点を重ね大勝。1点リードの六回、1番竹中の2点適時三塁打などで3点川が1失点完投した。

【大垣日大】	打	安	点	振	球
中(本)	4	3	2	0	0
田(明)	4	1	1	0	0
藤(長)	5	0	1	0	0
藤(新)	0	0	0	0	0
木(旭)	4	1	0	0	0
上(福)	3	2	0	0	1
和(香)	0	0	0	0	0
中(甲)	2	0	1	0	0
古(坂)	4	1	0	1	0
中(片)	4	0	0	0	0
古(山)	3	1	1	0	1
種(興)	4	2	1	0	0
和(文)	4	2	1	0	0
三(玉)	4	1	3	1	8
右(南)	3	1	3	1	7
柳(越)	1	2			

投手	回	打	安	点	振	球
柳川	9	34	5	9	1	1

▷三塁打 中嶋、立野、安藤(大)▷  
二塁打 中嶋、立野、安藤(大)▷  
暴投 中嶋、立野、安藤(大)▷  
試合時間 2時間30分

「努力家」上木が口火 大垣日大

◎：快勝への口火を切ったのは、緑の下の力持ち、上木健晴。同点とさされた直後の四回裏、左前打で出塁すると、8番立野力也の左翼線二塁打で一塁から好走塁、一気に勝ち越しのホームを踏んだ。「同点にされたのは(捕手の)自分のせいだから」と破顔して謙遜する姿は彼らしかった。1年時から主力だったチーム事情で何度もコ

ンバート。遊撃手、三塁手、投手もやった。小学時代以来の捕手になったのは昨年12月からだった。「捕手になって、試合を動かすのは捕手だと気付いた。今こうして捕手でいられることに正直、幸せすら感じる」とはいえ経験は十分ではない。四回の守りでは阪口慶三監督からのサインで相手二盗をウエストしたが送球に手間取り刺せず。その走者が同点のホームを踏んだために猛省、バットで雪辱した。「スターはいないけどチームワークがすごく良い。みんなで高校野球を純粹に楽しめているから勝てた」。屈託のない笑顔で素直に喜んだ。

中津商は四回に3番堀川の適時三塁打で追い付いたが、突き放された。○大垣日大・阪口慶三監督(先発柳川優太について)腕が振られて球がよく走っていた。投手として一つ壁を破ったかな

という印象。打線は後半文句がつけられないほどよくつながった。一人がたかさん打つんじゃないかと上位から下位までバランス良く安打を放ったのはスリルがはじけた。次戦へつながる好材料。

「努力家」上木が口火 大垣日大。上木健晴は、同点とされた直後の四回裏、左前打で出塁すると、8番立野力也の左翼線二塁打で一塁から好走塁、一気に勝ち越しのホームを踏んだ。「同点にされたのは(捕手の)自分のせいだから」と破顔して謙遜する姿は彼らしかった。1年時から主力だったチーム事情で何度もコ